

平成 20 年 度
第 1 回 荒川水系 湯水調整協議会
(春季定例会) の開催結果について

記者発表資料

**荒川水系湯水調整協議会(春季定例会)開催される
水資源の有効利用にご協力を！**

1. 開催状況 日時：平成 20 年 4 月 22 日（火）11：10～12：00
 場所：さいたま新都心合同庁舎検査棟 7 階会議室
 協議会構成：国土交通省関東地方整備局、東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構
 協議会の目的：荒川水系の湯水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 現状と今後の見通し（詳細は、別添概要書参照）

- ・ダムの貯水状況 平年を上回る貯水量
 （荒川 3 ダム：7,615 万 m³ 平年比 117%）

ダム名	貯水量（万 m ³ ）	平年比（%）
二瀬ダム	1,742	122%（H12～H19 平均）
荒川貯水池	1,020	106%（ " ）
浦山ダム	4,853	117%（ " ）

・今後の見通し

荒川 3 ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、ダム貯水量が不足することもあると想定されます。

3. 今後の対策（詳細は、別添概要書参照）

- ・ダム等水資源開発施設については、きめ細かな水運用を行っていく。
- ・必要に応じて、節水協力の要請と取水制限等の機動的な対応を行っていく。

平成 20 年 4 月 22 日（火）
荒川水系湯水調整協議会
(事務局：関東地方整備局)

発表記者クラブ	
埼玉県政記者クラブ	
竹芝記者クラブ	
横浜海事記者クラブ	
神奈川建設記者会	
東京都庁記者クラブ	

問 い 合 せ 先	国土交通省 関東地方整備局 河川部 (内線) 水政調整官 渡 邊 3515 水政課長 関 根 3551 河川環境課長補佐 林 3652	住所 〒330-9724 さいたま市中央区新都心 2 番地 1 さいたま新都心合同庁舎 2 号館 電話 (代表) 048-601-3151 (水政課夜間直通) 048-600-1334 (河川環境課夜間直通) 048-600-1336
	国土交通省 荒川上流河川事務所 副所長 須田 205 広域水管理課長 吉川 571	住所 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 電話 (代表) 049-246-6371

平成20年度第1回荒川水系治水調整協議会（春季定例会）の開催結果について（概要）

1. 現況と今後の見通し

平成20年1月からの降水量と荒川3ダムの貯水量状況は、表のとおりで、降水量、貯水量とも平年を上回っています。

	累加降水量	平年比	備 考
降水量 (1月から4月20日まで)	388mm	166%	平年を大きく上回る (S40~H19平均)
荒川3ダムの貯水量 (4月21日9時現在)	7,615万m ³ (貯水率88%)	117%	平年を上回る (H12~H19平均)

荒川3ダム貯水量の内訳

ダム名	貯水量(万m ³)	貯水率(%)	平年比(%)
二瀬ダム	1,742	87	122%(H12~H19平均)
荒川貯水池	1,020	100	106%()
浦山ダム	4,853	87	117%()

荒川3ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、ダム貯水量が不足することも想定されます。

2. 今後の対策

荒川ダム群及び下流部の水資源開発施設においては、今後の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を踏まえて、広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。

このため、上流ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

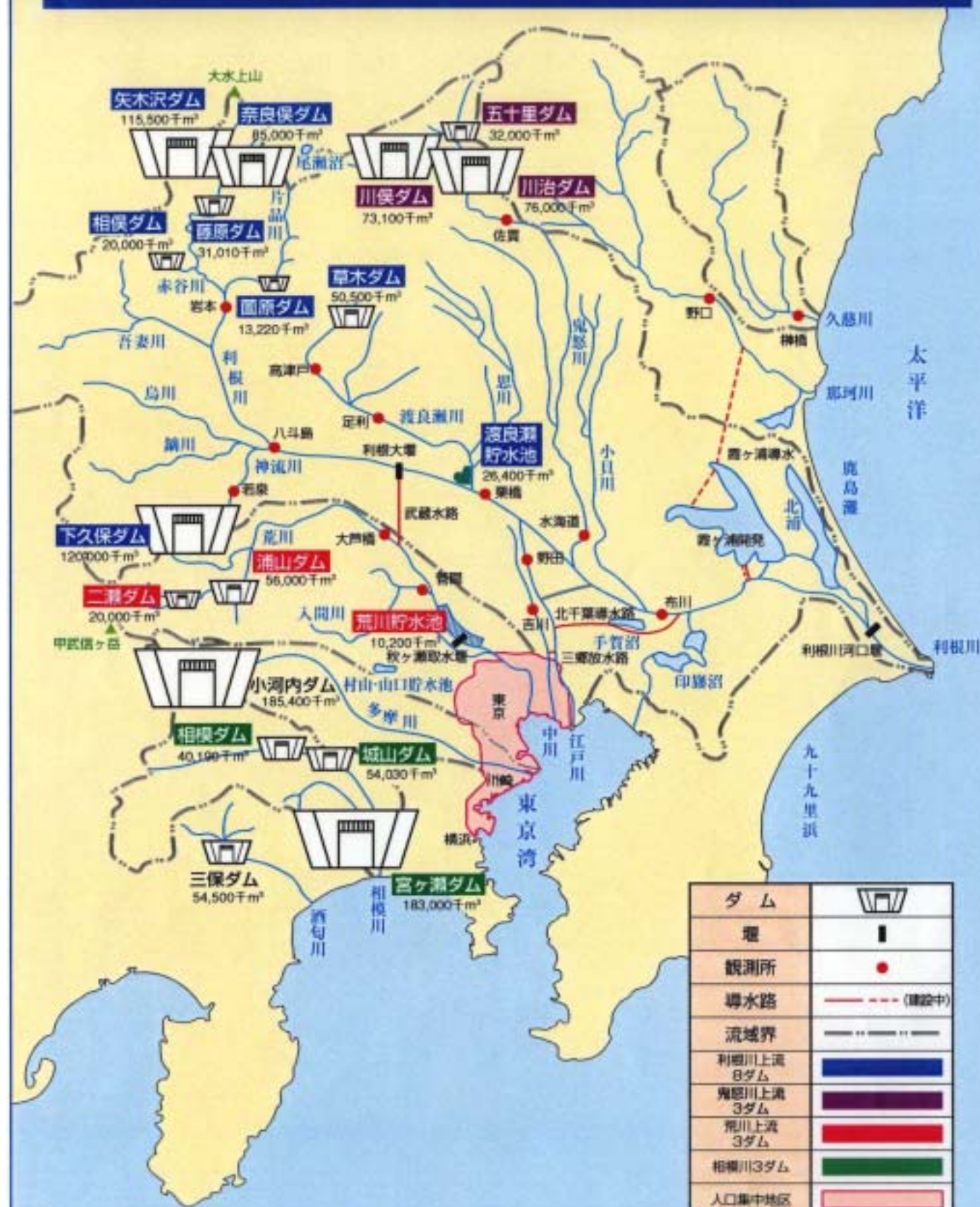
荒川水系治水調整協議会としては、現在のダム等の水供給能力が、首都圏の水需要の大きさに対して十分とはいえない状況にかんがみ、さらに幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していきます。また、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

ホームページでも情報をお届けしています。どうぞご利用下さい。
<http://www.ktr.mlit.go.jp>（水資源最新情報）

荒川水系渇水調整協議会

会 長	国土交通省関東地方整備局河川部長
副会長	国土交通省関東地方整備局河川部広域水管理官
〃	東京都都市整備局都市づくり政策部長
〃	埼玉県企画財政部地域政策局長
委 員	国土交通省関東地方整備局河川部水政課長
〃	〃 〃 河川計画課長
〃	〃 〃 河川環境課長
〃	〃 〃 河川管理課長
〃	〃 荒川上流河川事務所長
〃	〃 荒川下流河川事務所長
〃	〃 二瀬ダム管理所長
〃	東京都建設局河川部計画課長
〃	〃 都市整備局都市づくり政策部副参事 (水資源・建設副産物担当)
〃	〃 水道局総務部施設計画課長
〃	埼玉県企画財政部土地水政策課長
〃	〃 県土整備部河川砂防課長
〃	独立行政法人水資源機構管理事業部管理企画課長
〃	〃 利根導水総合事業所長

関東地方の主要な河川と水資源開発施設



注：ダム名下の添え書きは貯水容量

荒川ダム群等の現況と今後の対策について



滝沢ダム試験放流の状況（平成20年4月1日撮影）

平成20年4月22日

関東地方整備局

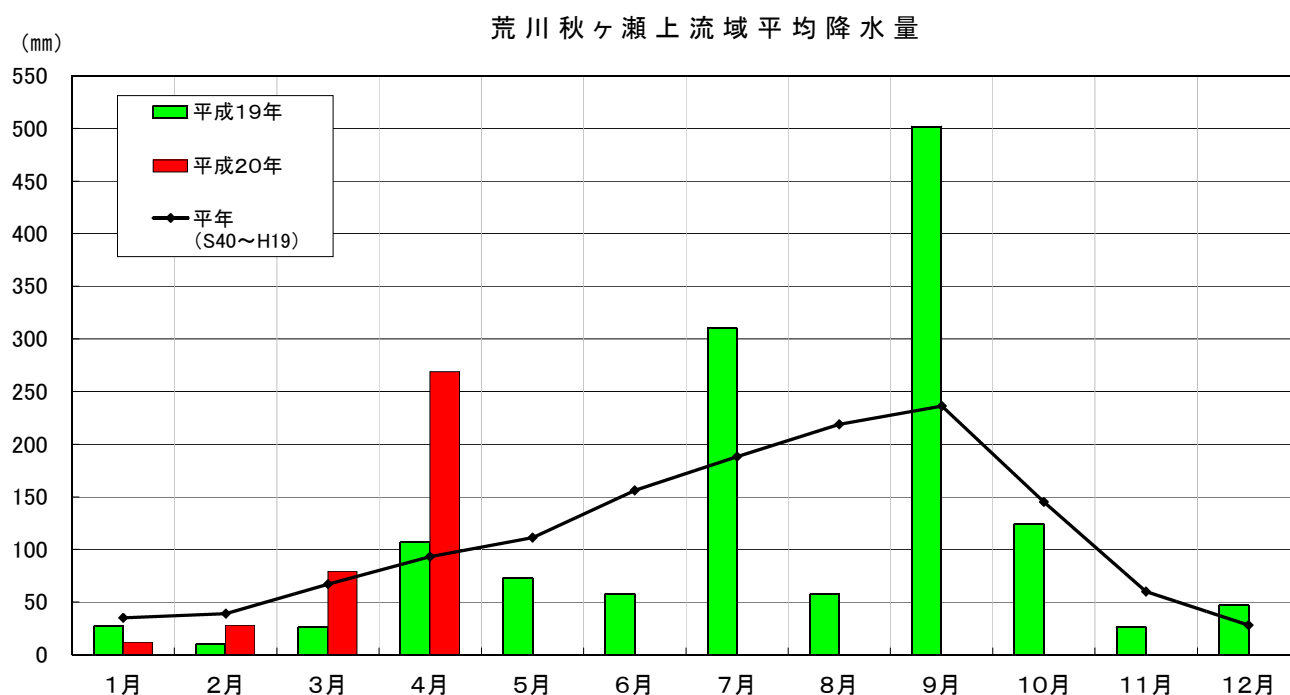
1. 荒川ダム群等の現況

(1) 降水量

平成19年の荒川秋ヶ瀬上流域の降水量は、1月から6月までは少雨傾向となっておりましたが、9月の台風9号による大雨の影響で、昭和40年からの43年間の9月降水量観測記録を更新し、年間降水量は、ほぼ平年並みとなりました。

平成20年に入ると、1月と2月は、それぞれ12mm（平年35mm）、28mm（平年39mm）と、いずれも平年を下回りましたが、3月からは平年を上回り、4月に入ってから4月7日から8日及び17日から18日にかけて発達した低気圧により大雨となりました。そのうち4月8日は、4月における月間降水量の平年値（昭和40年から平成19年の平均値）93mmを上回る121.6mm/日を記録しました。1月から4月20日までの累加降水量は388mm（1月～4月までの平年累加降水量234mm、平年比約166%）となっています。（図－1、表－1参照）

図－1



表－1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成19年	27	10	26	107	73	58	310	57	502	124	26	47	1,367	
平年 (S40~H19)	35	39	67	93	111	156	188	219	236	145	60	28	1,377	
平成20年	12	28	79	269									388	
平年比(%)	34	72	118	289									28	

平成20年4月20日まで

※. 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021km²

(2) 荒川3ダムの貯水状況

平成19年の荒川3ダムは、前年から過去最高の貯水量となっていました。6月から7月及び8月から9月にかけては補給量が多く平年を割る状況もありました。しかし、台風4号及び9号の出水により貯水量が平年並みに回復しました。その後10月も少雨傾向や工事制限などで平年を下回っていましたが、台風20号の出水で貯水量が回復し、以降は平年並みで推移しました。

平成20年に入ってから、平年をやや上回る貯水量で推移していましたが、1月からの少雨傾向から下流の流況が悪くなったため、荒川貯水池から冬期としては過去最大の約20万 m^3 を補給しました。平成20年4月21日9時現在の貯水量は、7,615万 m^3 （常時満水容量8,620万 m^3 に対して88%、平年の貯水量6,517万 m^3 に対して117%）と平年を上回っています。

（表－2、図－2参照）

表－2 荒川3ダム貯水量

ダ ム 名	有 効 容 量 (万 m^3)	貯 水 量 (万 m^3)	平成20年 4月21日9時現在		
			貯 水 率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平 年 比 (%)
二瀬ダム	2,000	1,742	87	22	122
荒川貯水池	1,020	1,020	100	0	106
浦山ダム	5,600	4,853	87	－48	117
3ダム合計	8,620	7,615	88	－26	117

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。

（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）

図－2

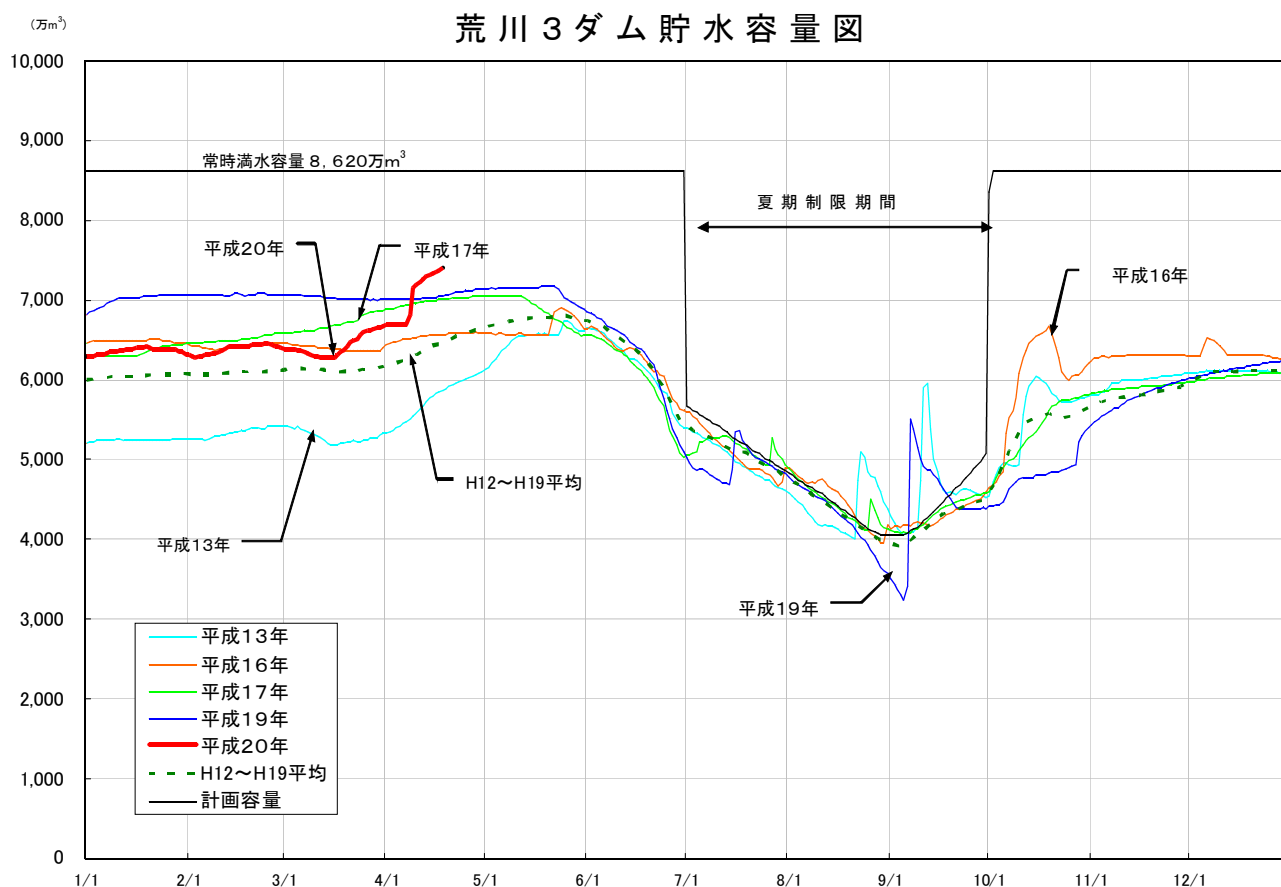


図-3

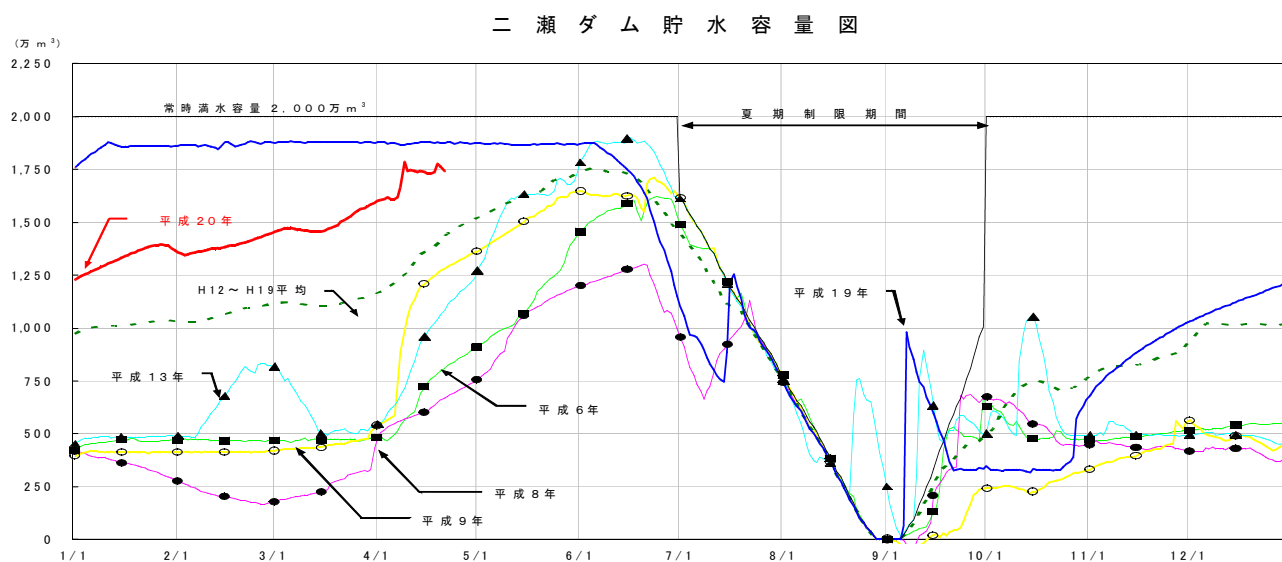


図-4

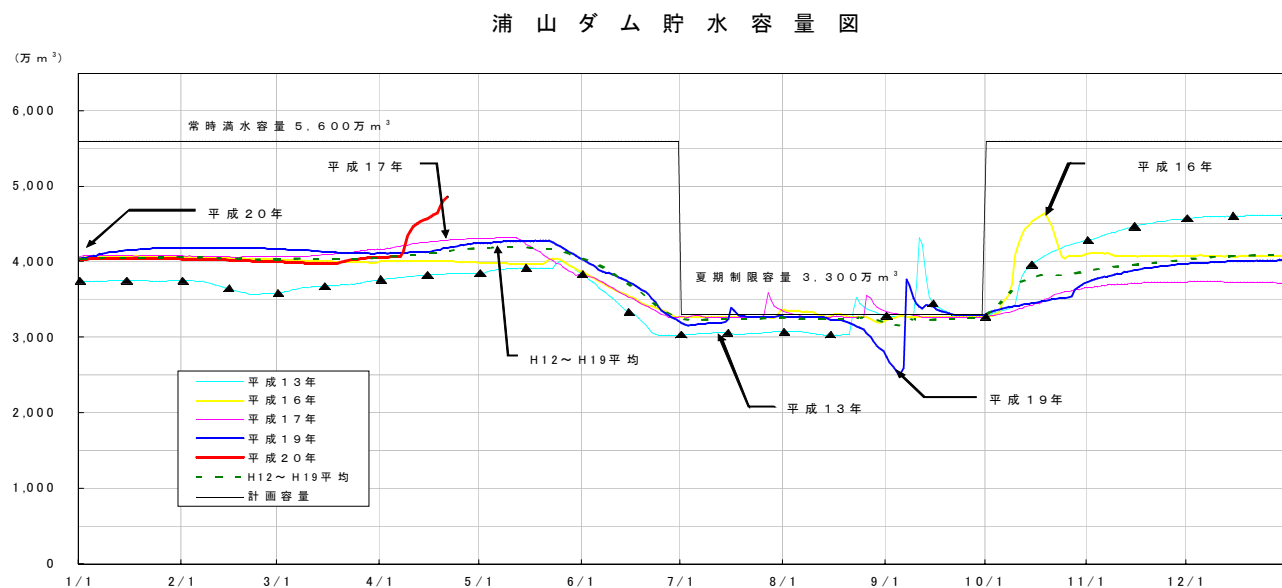
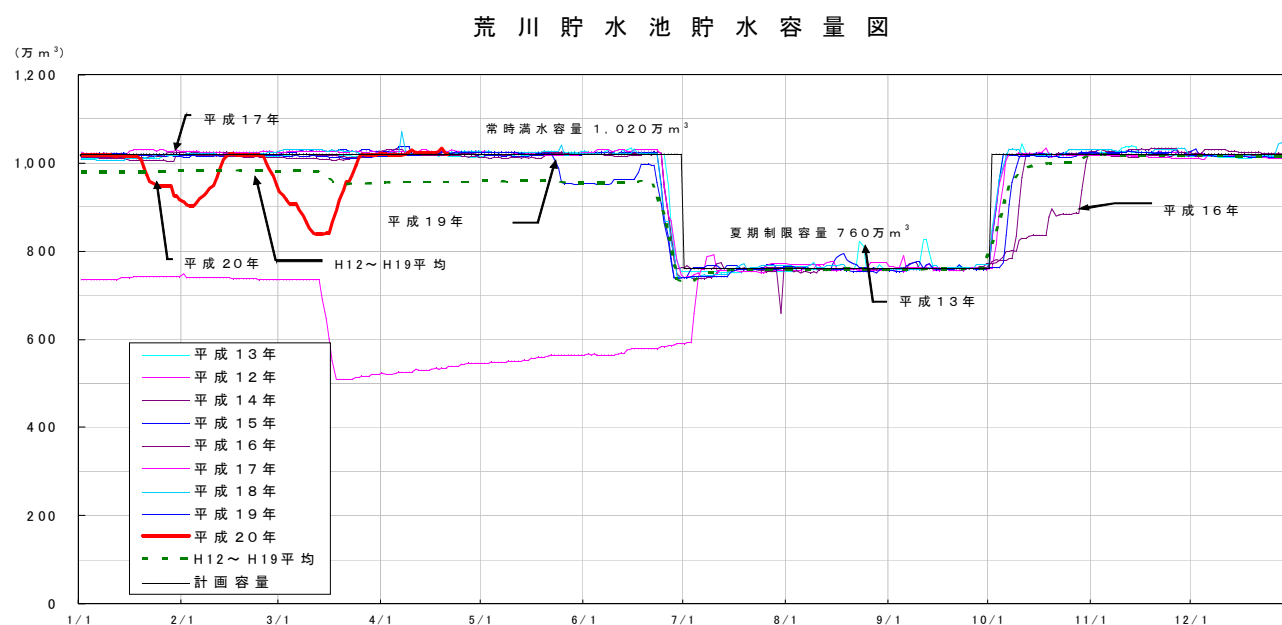


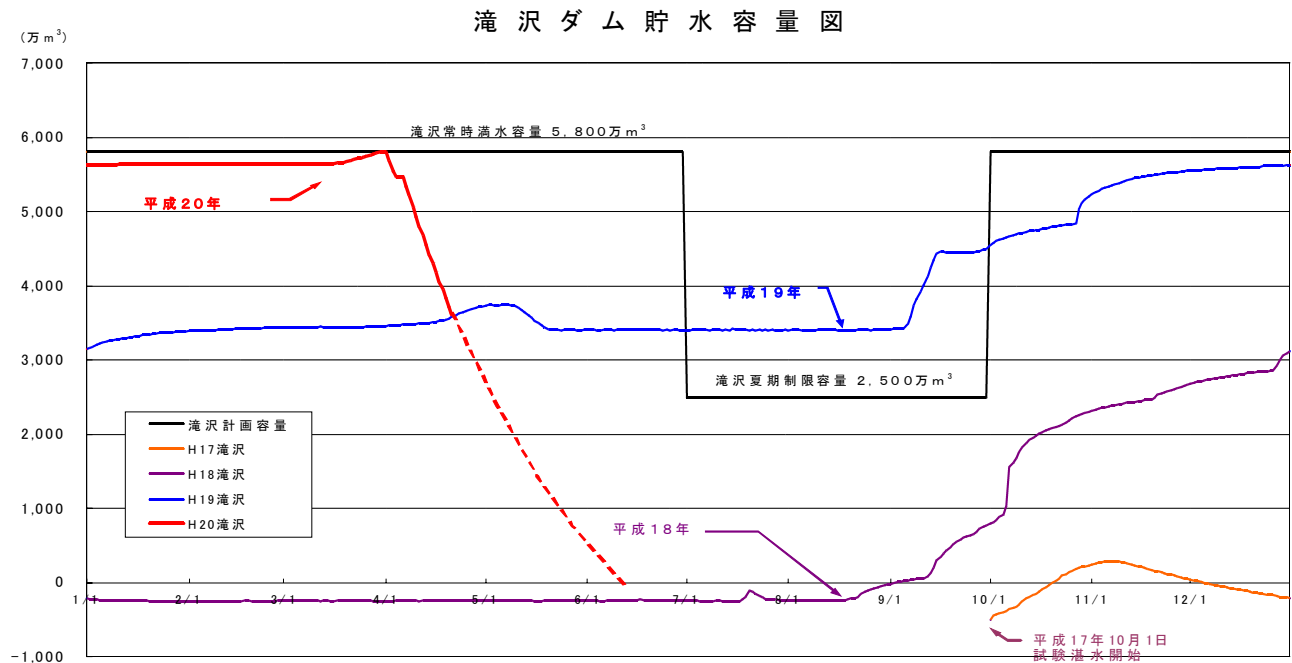
図-5



(3) 滝沢ダム の 現 状

平成17年以降、試験湛水を行っていた滝沢ダムについては、3月30日をもって最高水位に到達し、現在、試験湛水の最終段階である水位低下及び放流試験に移行しており、6月上旬には試験が完了する見込みです。

図－6



2. 今後の見通し及び対策（案）

（１）見通し

- ①. 平成２０年４月１８日発表の気象庁の１か月予報によると、４月１９日から５月１６日の関東甲信地方の降水量については、「平年並」となっており、３月２５日発表の気象庁の３か月予報によると、降水量は、５月は「平年並」、６月は「平年並み」となっています。

１か月予報（平成２０年４月１８日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気 温】 関東甲信地方	10	30	60
【降 水 量】 関東甲信地方	30	40	30
【日照時間】 関東甲信地方	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

３か月予報（平成２０年３月２５日発表）

【降 水 量】

〔関東甲信地方〕

3か月	30	40	30
4月	40	30	30
5月	30	40	30
6月	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ②. 荒川３ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足すること考えられます。

（２）対策（案）

- ①. [荒川水系におけるダム群の貯水量の確保]

荒川ダム群及び下流部の水資源開発施設においては、今後の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を踏まえて、広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。

このため、上流ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

- ②. [荒川水系渇水調整協議会の取り組み]

荒川水系渇水調整協議会としては、現在のダム等の水供給能力が、首都圏の水需要の大きさに対して十分とはいえない状況にかんがみ、さらに幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していきます。また、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

3. 非洪水期における工事制限水位等について

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間												
				平成20年												平成21年
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
二瀬ダム	二瀬ダム管理所	砂れき搬出工事 放流設備修繕工事	貯水池内の堆砂を二瀬ダム直下へ運搬する。 放流設備（HBV）の修繕工事を行う。													
					EL542.0 20,000千m³						EL542.0m EL511.0m 9/15		20,000千m³ 11/30		3,253千m³	
滝沢ダム	滝沢ダム	試験湛水	試験湛水に伴う水位降下を実施する。													
				4/1	EL565.0m 58,000千m³			EL537.0m 25,000千m³					EL565.0m 58,000千m³			